

<p>標 語</p> <p>そなえよつねに 日 日 の 善 行</p>	 <p>スカウト 浜 松</p>	<p>ビーバー隊 発隊</p> <p>＝ 弥 栄 ＝</p>
---	---	--------------------------------



撮影 高倉清雄

### 発団20周年に寄せて

浜松第16团团委員長  
浜松地区組織拡張委員長

石 津 宏



団に向かって大きくふくらんできたのです。

よい団体に、子供をあずけることができるだけでも良いと思っていたの

に、親達が「ボーイスカウト」のとりこになってしまったのです。

みんなで、ボーイスカウトの活動について勉強をすすめるにしたがって「子供達がボーイスカウトの組織を通じ、その自発活動により、自らの健康を築き、社会に奉仕できる能力と人生に役立つ技能を体得し、かつ、誠実、勇気、自信及び国際愛と人道主義をは握し、実践できるよう教育すること」がわかり、ますます、自分達の団が欲しくなってきたのです。

たび重なる話し合いの結果、遂に、発団!!  
子供達のよりよい育成に、この親達の強い気持ちをしっかりと知らされたのです。

さて、皆さん、ボーイスカウトの活動は「班制度」と「進歩制度」の運用の妙であります。

青少年をとりまく環境が問題になっている現在こそ、スカウト活動の重要性を多くの人達に知っていただく絶好の機会だと思っております。

スカウトとその家族の皆さん、指導者の皆さん、たゆまぬ活躍と奉仕活動とそれを支える健康を願ってやみません。

我が16団は、今年で20周年を迎えます。

20年前、私は、1人の親として子供の育成に良い団体はないかと捜していたのです。いろいろの団体の中で、長い歴史と、素晴らしい教育目的を持つボーイスカウト活動が目にとまりました。その時、ふと、同じ思いをしている親達がいまいだらうかと考えたのです。そこで、早速地域の人達に話しかけてみた結果、“そんな良いものなら、いっそ、自分達でスカウトの育成ができないか”と、話し合いが発

# 浜松地区 愈々第31期へスタート!!

## 新年度へ向けて

浜松地区委員長 内田 時世



三指 地区新年度に当り御挨拶申し上げます。

八重桜満開の今日この頃、第31期地区総会を迎えました。当地区にはご存知の通り第26団まで団号があります。第24団までは今日ま

で10周年以上の団歴を持つようになりました。第26団も4月18日で満3年となります。

スカウト運動は立派な人づくり運動です。総会席上柳本協議会長は力づく「ちかい」を忘れず、「おきて」を実行することが本当のボーイスカウト運動だと申されました。スカウティングは理屈ではありません。体で憶え、心で奉仕する人づくりの最もすばらしい運動だと私は自負いたしております。理屈を言う前に共に奉仕を実行しましょう。心での奉仕には責務は有っても肩書きは不必要なものと私は考えております。「私は神(仏)と国とに誠をつくし……」と誓うこと、それが「誠」だと思います。育成会員も立派な成人指導者です。

一人一人が自分のつとめをはたすことそれが「ちかい」であり「おきて」ではありませんか。それが心での奉仕だとおもっております。地区31期は新任の玉木コミッショナーを先頭に、中島事務長と共に組織構成を新にしてスカウトへの奉仕を充実するようにしました。先ず成人リーダーが手本を示す一つのチャンスです。スカウティングはすべてスカウトと共に有るものです。

引き続き各種運営委員長再任の方々、小野田直前事務局長は地区会計として、夫々ご奉仕下さいます。永田直前コミッショナー、奥沢直前組織・拡張委員長、杉本直前財政委員長、高部直前地区会計の皆様には大変ご苦勞さまでした。今後とも是非地区への応援をお願い申します。今年度もスカウト共に、スカウトの為に、頑張ってください。 弥栄

## コミッショナーをお受けして

浜松地区コミッショナー 玉木 功一



此の度、浜松地区コミッショナーの大役を拝命し、心を引き締めて皆様のお役に立つよう頑張る所存であります。

世の中の流れは、私達に物・心共に目まぐるしい変化を強いる今日であります。

これは、私達が自分の生きる道を見失う程にすさまじい勢いで流れています。

こんな時代に、自分も学びながら次の世代を作っていく青少年達と考え、彼等の道しるべとなるべく、共に生活し、語り合い、共に伸びていきたい。

こんな一心から、私とスカウティングとの係わり合いが始まり、また今日まで続けて参りました。

B-Pは、「心」は宗教を、「健康」は野外活動を、「技術」はゲームを通じて人づくりの指導システムを組んでいます。

然し、この崇高な目的も指導・運営に携わる人の力の入れ方で、結果に大差が生じて来る事も、私の短い経験からではありますが、見聞して参りました。

私はこうしたことを思う時、自分に課せられた責任の重大さを痛切に感じます。

そこで私は、私の力を補っていただくために、地区に、その下部組織としての小地区制度を導入して仕事の実行単位を小割りにし、役務分担の重複を避け、1人1役を完全に消化する態勢作りを提案し、皆様方の御承認をいただき、スタート致しました。

幸い、当地区内には立派な先輩、仲間が沢山おられます。

こうした制度を充分御理解いただき、機能させ、活発に活動する浜松地区の細胞として、この活動が更に一歩でも前進出来れば、と念願しております。自分の出来ることにベストを尽くす——これが大切だと思います。

私も浜松地区コミッショナーとしての役務をいただき、微力ではありますが最善をつくしたいと思っておりますので、スカウト諸君や各隊、各団の指導者の御協力をお願い申し上げます。

弥 栄

# 日本ボーイスカウト浜松地区協議会第31期総会報告

昭和60年4月18日、成子町法林寺に於いて地区総会を開催し、先ず物心面で後援をいただいた浜松ライオンズクラブ、浜松ロータリークラブに感謝状の贈呈があり「人づくりのBS教育者として真に適格な人」に贈られる内田六郎賞（スカウト浜松第90号参照）が柳本協議会長に贈られました。続いて総会

では多くの事項が審議、決議されました。

その中で、今年から地区運営組織を、5近隣から3小地区に改編する事も決議されております。自分の責務を自覚し、積極的に実行する——素晴らしいスカウティングを旨として「歩きながら考える年」——へスタートを致しました。

## 昭和60年度 事業計画

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
委員会他												
組織 拡	スカウト浜松発行			スカウト浜松発行			スカウト浜松発行			スカウト浜松発行 登録事務説明		登録事務受付
指導者養成	D・M研修	D・C研修 ⑤	⑩講習会				⑩講習会					
進 歩					⑤		面接	⑤	技能章学習会 面接		⑤	
野 営 行 事						地区大会		市子ども フリスティバル 球技大会		日の出遠拝		班長訓練 野 営
健 康 ・ 安 全												
財 政		浜松まつり 駐車場奉仕			地区大会	地区大会						救急法 講習会
無 線 ク ラ ブ							J. O. T. A					
ヨ ッ ト ク ラ ブ	ヨット メンテナンス		ヨット講習	ヨット講習	ヨット講習	ヨット講習						
C S リ ー ダ ー 会												
B S リ ー ダ ー 会			特別研修 (史跡めぐり)									
S S リ ー ダ ー 会								特別研修 (1泊2日)	技能章 学習会			SS・GS 室内集会
訓 練 チ ー ム												
県 連 他				ビルモント派遣 I. Y. Y. ジャンボリー申込	県連アドベン チャーキャンプ	SS		県大会草薙 17日(日)				

- 地区協議会      ○ 地区委員会      ○ 地区コミ会議      ○ CSリーダー会      ○ BSリーダー会      ○ SSリーダー会      ○ 楽器研修会
- 4/18 9/5      毎月第4水曜日      毎月第1火曜日      毎月第2水曜日      毎月第3金曜日      毎月第4木曜日      毎月第3水曜日

### 昭和59年度浜松地区表彰受彰者氏名

- 浜松第1団 木村憲弘 BS隊副長
- 浜松第10団 刑部丈治 団 委 員
- 浜松第14団 片山和夫 CS隊隊長
- 浜松第15団 中村昌春 BS隊隊長
- 浜松第15団 伊藤たかね CS隊副長
- 浜松第15団 杉山邦司 CS隊隊長
- 浜松第18団 松尾松彦 団 委 員
- 浜松第19団 野中重美 CS隊副長
- 浜松第21団 深谷守男 団 委 員
- 浜松第21団 村松 宏 団 委 員
- 浜松第22団 梶村邦一 団 委 員

- 浜松第23団 小野田悟朗 CS隊隊長
- 浜松第23団 山内健次 BS隊副長
- 浜松第24団 市川茂明 副団委員長
- 浜松第25団 新村清孝 団 委 員
- 浜松第25団 徳田芳郎 カブ隊隊長
- 浜松第25団 中村隆則 カブ隊副長
- 引佐第2団 清水忠治 団 委 員

### ◎デンマザー表彰(満2年間以上)

- 浜松第7団 松本サチ代 D・M
- 浜松第10団 澤木庸子 D・M

### ◎スカウト善行章

- 浜松第16団 村山隆司 BSスカウト(菊)

昭和59年度 地区協議会財政決算報告書

自 昭和59年 4月 1日 至 昭和60年 3月 31日

B S 浜松地区協議会

収 入 の 部				支 出 の 部			
科 目	予 算 額	決 算 額	差 異 額	科 目	予 算 額	決 算 額	差 異 額
前期繰越金	531,889	531,889	0	会 議 費	90,000	90,000	0
地区分担金	1,808,550	1,870,000	61,450	印 刷 費	250,000	205,540	44,460
寄 附 金	500,000	700,000	200,000	事 務 通 信 費	300,000	208,650	91,350
委 託 金	115,000	173,000	58,000	慶 弔 費	40,000	36,000	4,000
雑 収 入	100,000	81,331	△ 18,669	備 品 費	50,000	5,850	44,150
県連助成金	13,000	39,000	26,000	旅 費	50,000	33,500	16,500
未 収 金	46,600	46,600	0	研 修 費	683,000	666,303	16,697
				行 事 費	180,000	96,690	83,310
				運 営 費	500,000	503,360	△ 3,360
				太田山運営補助	357,000	357,000	0
				補 助 金	50,000	50,000	0
				分 担 金	3,000	3,000	0
				委 託 事 業 費	90,000	177,690	△ 87,690
				予 備 費	472,039	57,000	415,039
合 計	3,115,039	3,441,820	326,781	合 計	3,115,039	2,490,583	624,456
				次 期 繰 越 金	951,237	預 金 残 771,674	
						現 金 残 179,563	

昭和60年度 浜松地区協議会役員

(数字) は所属団を示す

役 務 名	氏 名
地区協議会長	柳本冬彦(10)
副 〃	内田嘉一(1) 市川重雄(16)
地区委員長	内田時世(4)
副 〃	※山田昌彦(6) ※鈴木宗太郎(10) ※宮澤廣士(12)
組織・拡張委員長	※石津 宏(16)
副 〃	鈴木俊輔(11) 奥澤達司(14) 村上虎吉(細1)
指導者・養成委員長	※野中豊治(19)
副 〃	平野康司(6) 池谷直次(18) 小山定雄(26)
進歩委員長	※山中洋一(可1)
副 〃	土井庸一(21) 後藤守利(10) 渥美俊策(19)
野営・行事委員長	※竹村徳一(20)
副 〃	木村清治(21) 斉藤元司(14) 吉田 一(4)
健康・安全委員長	平山木一(15)
副 〃	阿部正昌(21) 塩見芳朗(1) 斉藤 守(12)
財政委員長	※大木俊夫(22)
副 〃	平野 武(15) 高部良平(23) 黒瀬説雄(引2)
太田山管理運営特別委員長	宮澤廣士(12)
副 〃	梶村邦一(22) 鈴木利夫(16) 増本 博(26)
会 計 係	小野田将司(10)

役 務 名	氏 名
地区コミッショナー	玉木功一(21)
副 〃 (訓練)	柴田 薫(1)
(CS)	川上文雄(1)
(BS)	近藤孝明(6)
(SS)	神谷恭二(引2)
小地区コミッショナー(東)	滝川卓幸(22)
(南)	太田進(可1)
(西)	村松邦男(7)
事 務 長	中島繁光(6)
(東)	古橋照久(11)
事 務 次 長(南)	小野田悟朗(23)
(西)	千葉 聡(4)
スカウト浜松担当	黒柳昭夫(16)
太田山野営場長	神谷恭二(引2)
無線クラブ代表	井ノ口泰三(20)
	ヨットクラブ代表
	内山恵介(引2)
O・S・E	永田通児(7) 後藤守利(10)
	三輪悦爾(12) 名倉惣一郎(15)
	原口芳彦(24)

※印者は県連総会地区代表者

# 第20期 浜松地区班長訓練野営 修了者名簿

昭和60年3月21日～24日 於 引佐町渋川 川宇連野営場

## けもの隊

### ○コブラ班

浜松4 (2級) 清川 丈	浜松18 (初級) 密岡 宏行
浜松18 (初級) 浅井 英介	浜松21 (2級) 深谷 真輔
浜松24 (2級) 小野川和応	浜松14 (初級) 沢野 裕

### ○ブタ班

浜松4 (2級) 田中 聡	浜松18 (初級) 横田 昌義
浜松21 (2級) 高田 繁宏	浜松24 (2級) 井上 裕久
浜松24 (2級) 安達 聡	浜松10 (2級) 石津 卓也

### ○オーカミ班

浜松4 (2級) 鈴木 啓支	浜松18 (初級) 鈴木 俊行
浜松24 (2級) 吉倉 淳	浜松24 (2級) 小池 順
浜松10 (2級) 河合 淳	浜松14 (初級) 柳堀 友亮

### ○ウシ班

浜松4 (2級) 渡辺 歓也	浜松18 (初級) 鈴木 淳太
浜松24 (2級) 鶴橋 一晃	引佐2 (2級) 夏目 信泰
浜松10 (2級) 鈴木 浩之	浜松4 (初級) 飯尾 賢吾

### ○イノシシ班

浜松4 (2級) 安藤 豊	浜松18 (初級) 高橋 澄貴
浜松21 (2級) 石原 和宏	浜松24 (2級) 近藤 由勝
浜松10 (2級) 杉浦 豪	引佐2 (2級) 久米 栄輔

## 川 隊

### ○やまめ班

浜松1 (級) 宮下 敬浩	浜松7 (級) 石田 智之
浜松12 (級) 斉藤 尚良	浜松20 (級) 高柳 康二
浜松16 (級) 間瀬 康年	

### ○あゆ班

浜松1 (級) 大橋 壱俊	浜松1 (級) 青島 章悟
浜松7 (級) 山田 悟志	浜松16 (級) 鈴木 考直
浜松20 (級) 竹田 勉	浜松23 (級) 倉橋 臣

### ○にじます班

浜松1 (級) 福島 浩記	浜松7 (級) 松村 邦彦
浜松12 (級) 寺田 忠史	浜松16 (級) 加藤 元則
浜松20 (級) 高柳 浩司	浜松23 (級) 小野田健祐

### ○こい班

浜松1 (級) 中島 久典	浜松7 (級) 江口 匠
---------------	--------------

浜松7 (級) 清水 一徳	浜松12 (級) 水野 浩
浜松23 (級) 新村 崇	浜松26 (級) 鈴木 考明

## 川 隊 2

### ○かもめ班

可美1 (2級) 牧野 秀彦	浜松22 (2級) 大杉 敦士
浜松19 (2級) 野島 由行	浜松6 (2級) 馬淵 徹
浜松15 (2級) 上村 忠弘	浜松11 (級) 内山 拓志
浜松15 (級) 宮内 孝	

### ○おたまじゃくし班

浜松6 (級) 中野 良治	浜松6 (級) 柴本 岳治
浜松15 (級) 鈴木 智久	浜松15 (級) 藤原 信之
浜松19 (級) 鈴木 詠司	浜松22 (級) 鈴木 貴良
可美1 (級) 内山 哲男	

### ○かえる班

浜松22 (2級) 石原 充	浜松15 (2級) 保崎 正啓
可美1 (2級) 鳥羽 晃嘉	浜松15 (2級) 板垣 秀典
浜松6 (2級) 松崎 哲也	浜松19 (2級) 須山 啓成
浜松11 鶴飼 敏成	

### ○かに班

浜松6 (級) 河口 重保	浜松6 (級) 白柳 憲一
浜松15 (級) 鈴木 正京	浜松19 (級) 越塚 茂生
浜松22 (級) 笹田 由泰	浜松11 (級) 植田 孝一
可美1 (級) 中村 貴之	

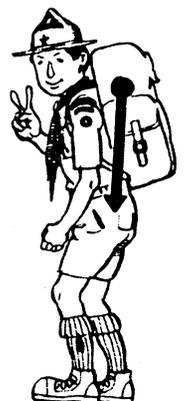
## [本部]

野 営 長	内田 時世 (4)
副野営長	宮沢 広士 (12)
副野営長	竹村 徳一 (20)
教育本部長	永田 通児 (7)
編成隊長	玉木 功一 (15)
教育隊長	原口 芳彦 (24)

[野営部] 野営行事委員会

[救護部] 健康安全委員会

[総務部] 地区事務局



## 班長訓練野営参加スカウト現地報告

### 学んだこと～良き班長とは～

浜松第16団ボーイ隊 加藤 元則

良き班長とは、班員の立ち場を考え自分ばかり楽をしないで、自分から進んで行動する人だと思う。それに、その人の持ちようをとらえ得意なものなどはよく知り、他の班員にいいところをまねさせたりすれば班員たちもいいところが身につく、短い間のキャンプでも、帰ってきた時には、行く前よりも一つでもいいことをおぼえ、少しずつでも成長していくような班づくりをしたいと思う。また、時にはやさしくしたり、きびしくしたりすることも必要だと思う。たとえば気おちしている時にきびしくあつかったりしたら、その班員はやる気がなくなり後から大きな影響がでると思う。班員はどんな班長がいかによく分かりません。だけど僕は今書いたことがきちんと守られていればだいたいいい班ができていくと思うし、自分自身も大きく成長して、世の中に入ってもこまらなくなると思う。いくらつらく悲しくても、この班訓がたえられるくらいならいい班長になれると思う。

班長は経験も必要だと思う。もし班員がわからないことを聞いてきて、班長がこたえられなかったら班長としてはずかしいし、信頼されなくなってしまう。だからいろいろなことを経験し、それを生かしていきたいと思います。

今まで僕は班員でした。僕がわからなくてこまっていたら、班長はやさしく親切におしえてくれました。今までの班長は立派だったと思います。僕も今までの班長に負けられないよういろいろ努力してみんなに信頼される班長になりたいです。

浜松第1団ボーイ隊 青島 章悟

ぼくは、班長とはということについてよくテレビなどでやっているウルトラマンをたとえにしてみようと思った。ウルトラマンは、隊になっている。べつに班長はいないが隊長がいるので、それを班長にして考えてみようと思った。

よくみているとあたりまえだが隊長が中心になっている。だけどその隊長は、今までにいろいろな経験をしているからほかの隊員をまとめて自分を中心に行動が出来ると思う。だけどなにも経験をしていなければきっといい行動が出来ないと思った。

それから班長は、なんども同じ失敗をしない人でないといけない。ウルトラマンの隊長は、地球人の命をあずかっている。だから隊長は、今までにしばしばしてきたことを二度としなければ、地球人の命

をすくえるがもしかしてなんかいも同じ失敗をしていたら気付いた時には、もう地球人がいないかもしれない。このことから班長もなんども同じ失敗をしなければ班員も班長のことを信頼するようになると思う。

まだまだよくウルトラマンの隊長の行動をかんさつしてみると隊長は、とても判断力があるということに気付く。隊長は、かいじゅうが出てきたとき冷静に判断して出動命令をだしている。班長もなにかあった場合にはウルトラマンの隊長みたいに冷静に判断して班員を動かさなければならない。もしかして判断力のない班長だったならばそれは、それはもうたいへんな班になると思う。それだけにとても信頼されなくなると思う。

さらによく見るとそれぞれの隊員たちは、いろいろな戦闘機に乗っている。ということは、隊長は、それぞれの隊員の技術を見ぬいていてそれぞれの戦闘機に乗せている。だから班長は、それぞれの班員の技術を見ぬかなければとてもいい班行動は、出来ないと思う。ウルトラマンの隊はともうまく行動出来ると思う。

浜松第7団ボーイ隊 清水 一徳

良い班長とは礼儀正しく行動力があり、みんなを引っばって行ける人でなくてはならないと思います。

みんなの手本となる班長、今まで年下の立場で、何人かの班長を見てきましたが、班長の行動とは、ものすごく目だつものです。そして、その行動は手本になります。そしてもうひとつ、みんなは班長に絶対の信頼をもっています。このようにみなの手本となる班長はとても責任は重大だと思えます。何しろ、行動の一つ一つがみなの手本になりますから、それなりの良い行動をしなくてははいけません。しかし、それには、いろいろな知識が必要になってきます、いろいろな経験もです。

そのために、この班長くんれんが行なわれなければいけないのです。この班訓は、班長になるためのくんれんですから、きびしいものだと思っています。

しかし、それにがまんし、それを身につけなければみんなにそんけいされる班長にはなりません。だから、この野営の行事一つ一つが立派な班長になるための大事な練習だと思ひ、真剣にとりくまなければなりません。まだ、ぼくらは一日目を終えたばかりです。しかし、それでもぼくはつかれてしまいました。1泊2日なら、明日かえられるが3泊4日という長丁場、この長丁場を一生けんめいやりたいです。

## \* 浜松第4団 \* ぼくらのスカウティング \*

### 最後のお別れ舎営

カブ隊 庵原 火曜 (元城小6年)

お別れ舎営で筑波'85科学万博に行きました。朝から雨で寒い日でしたが前から行きたいと思っていた所なので楽しみでした。

ぼくがぜひ見たいと思った富士通とNEC、C&Cシアターは入れなくてガッカリしました。見た所は電力館と集英社、IBM館です。

一番おもしろかったのは電力館でした。ジェットコースターのような乗物がゆっくりと進んでエネルギーの説明してくれます。

最初は水やかみなり、太陽などの自然のエネルギー、そして原子力と変わっていきます。未来の発電プラントの模型や石炭も展示してありました。とにかく最先端の科学技術を、とてもわかりやすく説明してくれます。

どうしても、もう一度行って見られなかった所を見学したいと帰りのバスの中で強く思いました。

### 班長訓練野営で考えた事

ボーイ 安藤 豊 (蛸塚中2年)

ぼくは班訓に行っているいろいろな事を学んできました。今まで班長等楽なものだと思っていましたが、実際に班訓を受けてみると大変な事だというのがわかりました。

今まで何から何まで班長にまかせっきりだったのですが、もう今度からはぼくが班長になる番です。

自分に出来るかどうか心配ですが、でも、ぼく達がやらなくては仕方がないのです。

もし、ぼくが班長になったら班員に信頼されるようにがんばりたいと思います。班長が信頼されればチームワークも良くなり、とても良い班が出来るのではないかと思います。

班長とは責任をもって班員をまとめて、みんなの見本となるようにするという事を教えてもらいました。努力しなくてはと思いました。

今回の班訓で学んだ事を生かして、すばらしい班長となるようにがんばりたいと思います。

### 班長訓練野営に行って

ボーイ隊 渡辺 歓也 (蛸塚中2年)

3日目のハイキングの時、いろいろな関所があった。その中でも僕が一番が手だったのは、ちかいとおきてだった。たぶん出来るだろうと思って何も練習していかなかったのだ。

これから班長になって班員をまとめていくのにこんな事ではだめだなと思った。

ロープはわりと良く出来た。手旗は僕が班の代表でやってうまくいき1回で出来た。

他の班の人から4団のスカウトの人は何でも良く出来ると言われてうれしかった。

この班訓を通してロープ、手旗、シルバーコンパスの使い方、地図の見方、火のつけ方、テントの良い建て方等覚えて本当に勉強になったし、他の団の人とも友達になれ、班訓に参加して本当に良かった。

### いろいろ覚えた班訓

ボーイ隊 清川 丈 (蛸塚中2年)

班訓は厳しかったが、楽しい事もあって充実した4日間でした。初日、雨の中の設営は大変でしたがそれ以外は晴れて国旗掲揚からコンパスの使い方等のいろいろな訓練を受けました。

3日目の12kmのハイキングは数々のチェックポイントを何とかこなしながら目的地に着きました。

夜はおぼうさんの話を聞いたりゲームをしたりしました。この日は舎営なので食事の仕度が楽でした。僕はこの4日間で、たくさんの事をいっぺんに習ったような気がしました。

これからは班訓でお世話になった方々に感謝し、班長としてがんばっていきたいと思います。

### 二回目のデンマザー

清川紗知子

初めてのデンマザーをやらせていただいた時の子供達が今は中学生。遠くでは一寸つっぱりながらもすれ違う時、下向きかげんで挨拶をしてくれます。

みんな一語に泣いたり笑ったりした子供達です。そんな子供がまた欲しくなって今回もデンマをお引き受けしました。多少余裕もできて子供というものが見えてくるようになりました。

何かと手をやかされた子が、雨の山道、私の傘の中へそっと入ってきた時等たまらなく可愛く思いました。

組のお母さん方や各隊リーダーとのお付き合いも増えて、家庭や子供の事等、いろいろと教えたり教えられたり得る事の多い一年でした。

本当にゆっくりではありますが、自分も子供と共に成長したと思っております。

## \* 浜松第16団 \* ぼくらのスカウティング \*

### 新米リーダーのひと言

古山 清美

「男の子が生まれたらボーイスカウトに入るといいよ」と主人の母がいつも言っていました。それは私の主人も小さい時ボーイスカウトに入っていて世界ジャンボリーなども経験し、とてもよかったということからでした。幸い生まれたのは男の子だったので、年令に達した時早速入隊させました。そう言われてみると、町でみかける制服姿のカブやボーイの子達が規律正しく、誇りを持っているように感じられました。

入隊させてみると、組集会や月一回の隊集会でハイキング、富士登山、キャンプ等の行事も多く、そういうことは家や学校ではなかなかできない事だったので親子で参加し楽しんでいました。

一年たって、わたしの期待通りわが子に何かよくなったところがないだろうかと思いましたが、今のところあまり変化が見られません。長男は意志表示ははっきりしない子ですので、挨拶は大きな声でしっかりできる、とか、約束を守る、とか何か変化がほしかったのです。先に入隊しているカブのご父兄に聞いてみると「ボーイに行けば変わるわよ」とか「一年位ではまだ変化がないわよ」という答えがかえってきました。

そう思っていた頃、それまでの女性のリーダーがやめられました。そこで講習会を受けて去年の11月より副長に任命されました。多勢の子供を預かるという責任の重さを考えるとき、身のひきしまる思いがしました。子供の入隊一年後のこととて、充分カブの活動内容はわかりませんが、いくつか提案してみたいことがあります。その一つは他の父兄の方達とコミュニケーションをよく図り、カブの活動の活性化の為に隊長はじめ他のリーダーの方々と、皆さんのご意見を活動の上に生かしていきたいと思えます。遠くへ皆で出かけることもとても楽しくていいことですが、遠出しなくてもできる活動も企画し、また奉仕活動などももう少し活発に行なっていきたいと思えます。

四月からは一層新たな気持ちで、カブの子供達全員が、やくそく、と、さだめ、をしっかりと守り、よい仲間になるようご父兄の方にも協力していただきながら、隊長のお手伝いをしていきたいと思えます。

### カブスカウトに入れて

村松 房子

今年、息子は、くまスカウトになった。少しは、スカウトとしての自覚ができてきたか……。入隊した当時は、引込み思案であった。それでも各種の行事を通して仲間とも打ち解けて元気に活動するようになった。私は、スカウト活動に憧れに近い感情を持っていた。実際、子供を入隊させてみて、責任感とか、実行力と言うのは、家庭で身に付けるもので、集団に入ったから生まれるものではないことを知ったのだ。今の子供は、一人ひとり、とても素晴らしいものを持っているのに、まとまることができないのはなぜだろうか。思いやりが欠けるのはなぜか。多くの子供達の姿を通して我が子の足りない所を知るのによい機会が得られた。

最近、スカウト活動が少年団など他の活動でやりにくくなってきた。我が子もそうである。何とかならないものだろうか。引込み思案だった息子も組長となり自分でも誇りを持てるようになった。

今年で三年目、入れて良かったと思える年にさせたいと思う。

### なぜカブスカウトをえらんだか

カブ隊 加藤 大和(芳川小3年)

カブスカウトに入ろうと思ったのは

- ① おじさんが、スカウトなかまであることと
- ② おばあさんの「自分のためになるから、入ってみたら」とすすめられたからです。がんばって、りっぱなスカウトになりたいと思っています。

### 入 隊 式

ボーイ隊 大瀬 真一(五島小6年)

いつの間にか、カブスカウトの三年間が過ぎ去ってしまい、とうとう、目の前で「上進式」が始まっていた。いよいよ、ボーイスカウトのスタートだ。

「三つのちかい」を言う直前になると非常にドキドキして汗ばんできた。何しろ父、母、カブのなかま、ボーイのなかま、それに隊長や団委員などに注目されているからだ。だが、つき進むしかないのだ。思い切って三つのちかいを言った。いつの間にか自分の場所にいた。きんちょうの一しゅんが過ぎた。ドキドキがおさまらない時、だれかが

「おい なかなか よくできたな。」と言ってくれた。うれしかった。がんばる力がわいてきたようだ。  
ボーイスカウト1年生!! がんばるぞ!!

## \* 浜松第22団 \* ぼくらのスカウティング \*

### 私の富士章はみんなのもの

ローバー隊 加藤道幸

私がボーイ隊の班長をやっていたころは、隊員は全体でも十数人で、一回の集会に集まる人数も数人といったことが何度かあった。ところが今はどうであろう。カブ、シニア、そしてローバーを含めて、あのころの何倍もの隊員を抱えることになった。この団の拡大には信じられない思いである。私がシニアに残ることになったのは、こうした団の成長に刺激されたからではなかっただろうか。当然あるはずのシニアがないのでは、私としても寂しいし、それ以上に新しく入団して、スカウトを続けたい人達に申し訳なく思ったからなのです。小さなカブやボーイに励まされながら、私は富士スカウトになることができました。この十周年にあたり、我が団のスカウトすべての胸に富士章を付けてやりたいような気がします。なぜなら私の胸の富士章は、この22団の勲章でもあるからです。そして、最後に、五歩も六歩も後退して十歩前進した我が22団に弥栄を送りたい。



### 浜松第22団創立10周年を迎えて

ボーイ隊 小 蘭 隆 弘

今年、昭和60年、わが浜松ボーイスカウト22団は創立10周年を迎える。僕が入団したのは昭和55年、ちょうどカブスカウト22団が創立された年だった。それから5年間スカウト活動を続けてきた。様々な物事を体験し、勉強してきた。しかしそれらが生活に活用されなければ今までの活動が全くの無意味になってしまう。今年僕は中三になるボーイスカウトからシニアスカウトになる年である。シニアスカウトになるとさらに高度な技術が必要とされるであろう。だから、今までの活動を見直し、自分自身を向

上させ、他の人達も団をよくするために今までの活動のよいところ、悪いところを反省し、浜松22団が未長く続くようスカウト全員でガンバリたいと思う。又、浜松22団が創立15周年、20周年、さらに30周年と続くようにしたいと10周年を迎えて思う。

### 1年間をふり返って……

カブ隊 久米裕太郎

ぼくは、きょ年1年間(1984年)のカブスカウト活動は、とても満足しました。やりたかったことがいっぱいやれたからです。6月には田うえをやり、ドロドロになったり、ひるにかみつかれたりしたけれど、さいごは稲が実をつけたので、いやなこともわすれ、楽しさがいっぱいになった。夏には、村櫛へキャンプに行きました。そこでは赤ふんどしをして近くの海で遊びました。ほかに人がたくさんいたので少しはずかしかったけれど、そのはずかしさもわすれ、おおいに楽しんだり、わらったりしました。変わって冬は、クリスマス会、スキーと、またまた楽しい行事が続きました。スキーの時など、自分のすきなように思うぞんぶんすべて、とても気持ちがよかったです。こんなことがあったので、この一年間は、とてもよかったです。そして今度はボーイスカウトへ入隊です。むねがわくわくしています。

### 1年間の思い出

ボーイ隊 藤田和宏

今年1年間のうちで、1番楽しかった事は、浜松ボーイスカウト30周年キャンポリーである。3泊4日は、長いようでも又短いようでもあった。それは、その時、僕は、ひどい下痢をしていて、思い通りに遊べなかったからです。最終日には色々な催物が出た。22団はジュースを売りました。最初は、一杯50円だったのが30円と安くなっていったのが面白かった。

催物の中で一番人気があったのは、かき氷とハングライダーで、ハングライダーは30m近くの行列が出来ていました。

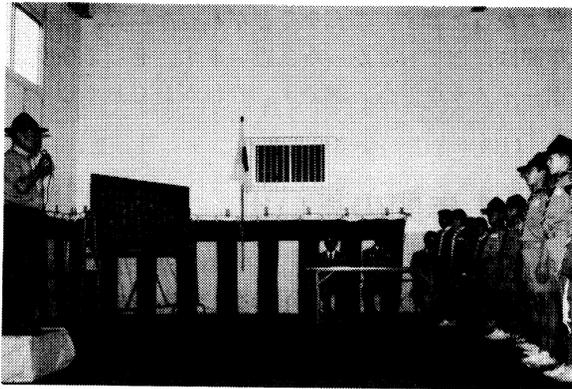
僕は、浜松キャンポリーは、これで最後かもしれない。行なわれたとしても、あと2回位ではないかと思いました。僕は、浜松ボーイスカウト30周年キャンポリーに出席できて良かったなと思えました。

## 弥栄 結団20周年

### 結成20周年記念行事報告

浜松第15団 団委員長 平野 武

桜花爛漫の4月7日発団20周年の記念行事を八幡宮の境内で行う可く準備中の処、朝方よりの生憎の雨で急遽会場を隊ルーム隣の浜松倉庫棟の特別な御好意により構内全部をお借りして盛大に挙行されました。式典には雨にも拘わらず内田浜松地区委員長を始め地区役員の皆様友隊の皆さん当団関係者を含め400名を越す方々の御列席を載き20周年記念に相応しい祝福を頂きました。山中育成会長の挨拶に続き当団の発展に物心両面に亘り御援助を賜りました関係先並に永年献身的な奉仕をされた指導者各位に感謝状と記念品の贈呈が行われました。続いて内田地区委員長より20才の成人式を迎えた立派な成人リーダーの年令になったからにはバーデンパウエルの提唱する班制教育と進歩制度のスカウト運動独特の方法で「ちかい」と「おきて」を通じてスカウト



達と共に21世紀に向って堂々と胸を張って前進し一層の飛躍をされる様にと励ましの言葉を、また20年前に当15団の生みの親として松江町林良太郎名誉育成会長宅で熱心に討議された想い出話を内田嘉一副委員長、三輪県コミッショナー両氏より励ましの言葉と共に頂き、今後共一致団結して充実したスカウティングに邁進すべく責任と自覚を新たにされた次第です。セレモニー終了後友隊の皆様さんと一緒にお母さん方の腕によりをかけた数々の催品に舌鼓を打ち乍ら和気藹々で時間の経つのも忘れて有意義な一時を過す事が出来ました事を厚く御礼申し上げます。

## 結団10周年 弥栄

浜松第24団 団委員長 原口 芳彦

去る3月17日には生憎の雨天にも拘らず御来賓及び友隊の皆様多数御来場を賜わり御陰様にて当団発団10周年式典及び行事を無事終了する事が出来ました。誠に有難う御座いました。当日は又、待望のビーバー隊の発隊も終了しまして当団にとって誠に記念すべき一日となりました。多難な現代社会の中でこれから20周年に向って如何にしてスカウティングを遂行してゆくのか大変な問題点の出発点でもありました。解決策は幾つかあるでしょうが私は団家族全員のスカウティングに対する関心と熱意が最大のものであらうと思います。今後共御指導賜わりたく願います。



浜松第22団 団委員長 大木 俊夫

浜松22団の10周年記念式典は、前夜の雨が嘘のような春の陽光を受けて、4月14日午後2時、お祝にかけつけて下さった友団の団委員、リーダー、隊員の行進曲に合わせての入場で始まった。

「10周年の式典は、この10年間の活動の縮くくりというより、新たな出発を目指すものです。」とのランドリュウ鷺の宮カトリック教会司祭の挨拶に続いて、内田時世地区委員長から「すばらしい神父さんのおことばを聞いて、22団の諸君を羨しく思う。これからが本当のスカウティングである。」との励ましのおことば、さらに内田嘉一地区副委員長の、「浜松地区には、21団までは順調に誕生したのに、次の団がなかなか生まれなかった。それだけに、22団が誕生し、ここまで成長した姿を見て、本当に嬉しく思う。」とのお祝の言葉を頂いた。22団に富士スカウトが誕生したことを強調して下さった三輪県連コミッショナーのおことばと弥栄三唱で、式典は予定通り40分で終わった。10年間の活動の歴史がこの40分に凝集したような充実感を覚えた。

式典に御臨席賜った御来賓各位ならびに友団の団委員、友隊のリーダーおよび隊員の皆さんに心からお礼を申し上げます。皆様の御援助をバネにさせて頂いて、浜松22団は新たな跳躍を試みます。

浜松第23団10周年記念式典

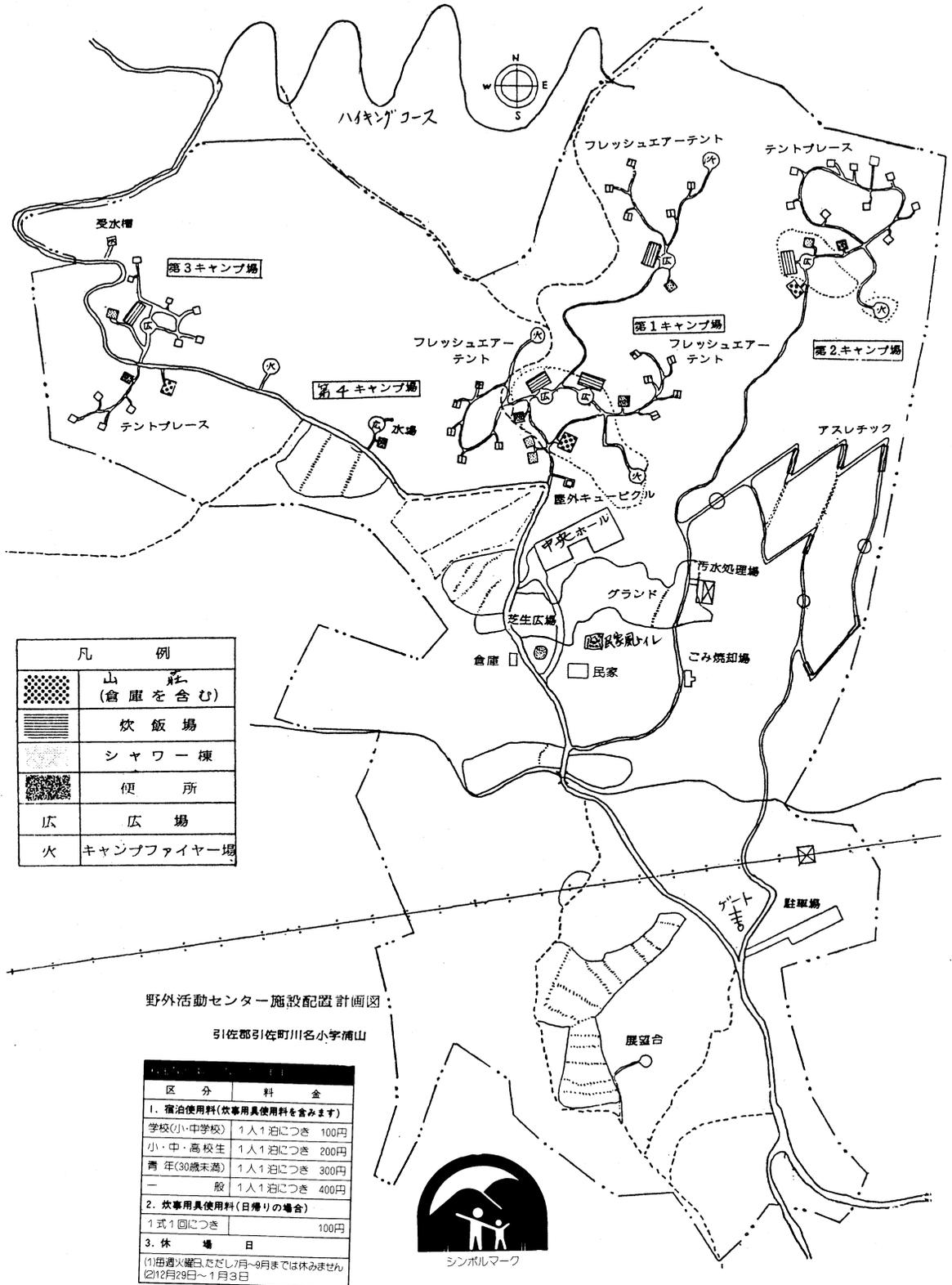
1月20日西都台小学校講堂にて挙行

# 浜松市「かわな野外活動センター」引佐町川名に誕生

受付開始 5月7日(火) 8時30分より

於 市役所西側別館(元税務署) 3階 浜松市体育協会 電話 56-1006

利用開始 7月7日(日)



尚市体育協会では、7月10日~8月31日間に野外センターで働くアルバイト学生(大学生)を募集しています。特にスカウト経験者を希望しています。

# SENIOR DOOR



浜松地区事務長 中島繁光  
前地区SS地区コミッショナー

昭和58年7月25日発行の92号から掲載が始まったこのシニアのページも、この99号で私から、引佐2団SS隊長・地区副コミッショナー 神谷恭二さんに引継ぐことになりました。次号100号に期待するところ大であります。約2年間についていろいろと書きとめてみたいと思います。

- 教育とは、100円もとでをかけて、120円になるというものばかりではない。時には、20円か30円にしかならないものもある。だからといって、残りの70円か80円は自分でだしなさいというのは、あまり望ましいことだとは思わない。リーダーの研修にこそもっと予算をつけてほしい。効果はゆっくりあらわれる。
- 人生の長短は、時間の長短ではない。いかに燃焼するかにある。スカウティングを長く続けるには、熱意を持続しなければならない。
- スカウティングには、つまづくこともある。つまずいたら原因を考えよう。明日のために。
- 1人1人のリーダーが、1人でできるよう、手助けとして、地区は仕事をしていかなければならない。
- やれば出来ると言うよりも、やるように動機づける方法と、その態度は、その人の心からほとぼしり出てくるものに、新しい感動と知識を加えて相手の個性をみつめていくことと、少人数によるコミュニケーションを大切にしていくことから始めていこう。
- 班制度にもとづいた、班長会議の効果と、班の実質的な向上を目指していく上で、もっと1人1人のスカウトの個性を伸していく委員会活動への援助をしていくために、プログラムプロセスの中で、はっきりと、委員会制度の本質を知ることと、必要に応じた委員会を設置することが、シニアリングのキーポイントです。
- ボイスカウトとは、団ルームとか、テントとか野営場ではなくて、スカウトと、成人指導者がつくる組織体である。

• みんなが、出席できなければできなくていいとか、大人の都合で、できる範囲内で、まあ、気持のある人だけをお願いして、適当にやっていたらいいと考えていないでしょうね。

- スカウティング—特にシニア活動について
- 集会を持つ。
- プログラムの展開に必要な資源（人、物、金）を得る。
- 高校3年卒業時までには準章を授与する。
- 富士章を奨励する。
- 宗教章の取得に助力する。
- 充分なコミュニケーションをもつ—手紙、電話、訪問、対話……
- 年間計画作成時に実施月日を設定する。
- 後継者を養成する。
- ローバー隊へ上進をすすめる。
- 多くの機会をとらえて研修する。
- 隊員の多少にとられない。
- 制服を正しく着用する。
- 記録をとる。
- 視野を広く持つ。
- 家族の協力を得る。
- スカウティングに使う時間を別あつかいにしない—自分の人生に使う時間は同等である。
- 長く続ける。
- 「私は良いリーダーになります。」と唱えよ。
- 人生に目標をもつ、
- 時間を管理することは、自分を管理することである—メモとスケジューリング（年、月、週、日）
- 今日が一番若いのです、明日は1日年をとる。

みんな、楽しくて、愉快で、ためになるスカウティングを展開していきましょう。



# スカウト浜松第100号記念号について

「スカウト浜松」の昭和60年7月25日発行号が、第100号になります。

係では、これを記念して次の事を企画しておりますので、皆様の御協力をお願い致します。

記

1、特別号として編集、内容についての御希望、御意見を各団組織拡張委員迄お寄せ下さい。

2、特別写真コンテスト(兼第5回コンテスト)

○題材 ボーイスカウトの活動をテーマにしたもの。

隊集会、班集会、月例会、組集会、その他の訓練、ハイキング、キャンプ、ヨット訓練、友情交歓、ヒルモント派遣、奉仕活動、県大会、地区大会、日本ジャンボリー等。

○作品の条件

① サイズ (1)白黒：サービス判以上4切まで  
(2)カラー：サービス判以上キャビネ判まで

② 一枚写真・組写真何れも可

○応募点数 制限なし。ただし入賞は一人一賞とします。

○締切り 昭和60年9月30日

- 賞 ◎最優秀賞〔スカウトの部〕 地区協議会長賞 1点  
コダック賞 1点  
〔成人の部〕 地区協議会長賞 1点  
コダック賞 1点  
◎優秀賞〔スカウトの部〕 地区委員長賞 2点  
コダック賞 2点  
〔成人の部〕 地区委員長賞 2点  
コダック賞 2点  
◎入選 各部 記念品「スカウト浜松」賞 10点  
コダック賞 10点

○参加資格

〔スカウトの部〕 カブ、ボーイ、シニアの各スカウト

〔成人の部〕 ローバースカウト、リーダー、団委員、育成会員、父兄等。

○審査 高倉清雄氏(浜松第7団副団委員長)

○発表 「スカウト浜松」誌上

入賞者には直接ご通知します。

○提出先 各団組織拡張委員宛

○送り先 各団組織委員は→「スカウト浜松」奥沢達司へ  
〒430 浜松市佐藤町549-5 TEL0534-63-5975

○注意事項

- ① 応募作品は未発表のものに限ります。  
② 作品の裏面には必ず下記様式の「応募票」をはって下さい。  
③ 入賞作品はネガフィルムの提出をお願いします。

主催 「スカウト浜松」ボーイスカウト浜松地区委員会  
協賛 長瀬産業(株)コダック製品事業部

応募票 100号記念ボーイスカウト写真コンテスト				
表題				単・組
部門別	スカウトの部	成人の部		
氏名		年令	才	男・女
住所		電話	—	
所属	第 団	隊	級又ハ 役 務	
該当項目の何れかを○でかこむ				

## — 地区のうごき —

- 1月1日(火) 日の出遙拝(中田島海岸)  
7日(月) 地区コミ会議(法林寺)  
9日(水) CSリーダー会(南部公民館)  
10日(木) 登録事務説明会(法林寺)  
13日(日) 地区結成30周年記念講演会(法林寺)  
講師 宮里勝政 他  
17日(木) BSリーダー会(法林寺)  
20日(日) 浜松第23団、結成10周年記念  
(西都台小学校)  
22日(火) 組織・拡張委員会(法林寺)  
23日(水) 地区委員会(法林寺)  
24日(木) SSリーダー会(法林寺)  
2月2日(土) 実修所入所希望者...  
第1教程 勉強会  
3日(日) (市立青少年の家)  
3日(日) BSリーダー新年会(竜勝園)  
4日(月) 地区コミ会議(法林寺)  
7日(木) 地区名誉会議(法林寺)  
13日(水) CSリーダー会(南部公民館)  
15日(金) BSリーダー会(法林寺)  
16日(土) 地区救急法講習会  
(市立青少年の家)  
17日(日)  
20日(水) 進歩委員会(法林寺)

- 21日(木) 財政委員会(法林寺)  
27日(水) 地区委員会(法林寺)  
28日(木) SSリーダー会(青年婦人会館)  
3月2日(土) 地区訓練チーム研修会  
(奥山 竹内旅館)  
3日 3日(日) 登録事務受付(法林寺)  
5日(火) 地区コミ会議(法林寺)  
6日(水) 野営・行事委員会(法林寺)  
7日(木) 地区委員会・団委員長会議(法林寺)  
13日(水) CSリーダー会(南部公民館)  
15日(金) BSリーダー会(法林寺)  
17日(日) 浜松第24団、結成10周年記念(曳馬公民館)  
20日(水) SS室内集会(GS合同)  
(市立青少年の家)  
21日(木) 班長訓練野営(3泊4日)  
(渋川・川宇連野営場)  
24日(日)  
27日(水) 地区委員会(法林寺)  
28日(木) SSリーダー会(青年婦人会館)

発行所	第99号
日本ボーイスカウト浜松地区事務所	
〒430 浜松市海老塚2-9-16 ☎52-2386	
編集発行責任者	石津 宏
印刷所	(株)朝日堂印刷所
昭和60年4月30日 発行	